

東京都の若者ケアラー支援について

—令和7年度ヤングケアラー・コーディネーター活動報告—

東京都YCC 若藤章子

2026.2.19

1. 相談件数の状況

	相談対応件数	新規対応数	継続対応数	面談数
8月	0	0	0	0
9月	10	7	3	1
10月	27	13	14	1
11月	17	9	8	0
12月	17	6	11	1
1月	15	7	8	1
2月	14	8	6	0
集計	100	50	50	4

期間中の相談対応件数は計100件 【2月12日現在】

そのうち新規対応数50件、継続対応数50件、面談4件であった

2. ヤングケアラーの相談経路

相談経路	件数
若ナビ α 内訳 LINE 電話 メール	44 23 20 1
豊島区	1
江戸川区	1
大学	1
通信制高校	1
NPO法人	2

性別	件数
男性	19
女性	30
不明	1

ケア対象者	件数
母親	23
父親	5
きょうだい	4
祖父	1
祖母	6
複合的	10
その他 友人	1

年代別	件数
10代	10
20代	26
30代	14

最年長39歳

二次的困難	件数
家族問題	22
仕事	9
不安	6
メンタル	4
住居・生活	3
自立	3
進学	2
非行	1

3. YCの事例

- LINE相談
- 支援団体との連携
- 大学からの連携

4. 課題 気づき

- 家族が介入を拒むことや本人がヤングケアラーと気付いていないことからの支援の難しさ
- 18歳未満から経験・体験の不足およびロールモデルの不在により、将来設計を具体的に描けない若者
- 介護していると心が穏やかになったり、自分が必要とされていることを実感したり、役割があると感じられる
- 伴走支援による社会とのつながりが心理的な安定につながる

5. まとめ

振り返り

18歳の切れ目ない支援に向けて

通信制高校への周知後、相談依頼や
出前講座の依頼があった。

福祉局が今年度実施したアンケート
で大学や専門学校でもY C支援をし
ていることが分かった。

若者ケアラーが若ナビα、大学、高
校、行政、支援団体からの相談で支
援につながった。

まとめ
今後の展望

相談窓口若ナビα

関係機関との連携強化

研修、出前講座